

小学校段階 学級活動

ア 活動の概要

a コミュニケーションツールとしての活用

雨の日は自席で黙って過ごすことになっている。トークテーマを教師が送り、Classroom のストリーム機能で会話をを行った。

b 児童作品の発表の場としての活用

児童の作品の発表の場として開放している。
読んだ児童は、励ましの言葉を送っている。
主に、新聞系の児童が、自身で取材した内容を記事にし、ストリームに提示している。



イ 活用したアプリ

- Classroom

【新聞系からの発表】

ウ 実践のコツ～チーム学校として～

a 留意点

必ず教師も一緒に行くことを前提としてコメントを送り合った。言葉の使い方や返信の仕方など、一緒にコメントを送り合う中で、チャットのルールやマナーなど情報モラルに関する指導もできた。

児童作品の発表の場であるので、教師側のチェックが必要である。メッセージのやりとりが終わった後は、Classroom の設定を、「生徒に投稿とコメントを許可」にする。

インターネット上の画像を活用する場合も想定されるので、事前に、著作権に関する指導も同時に行う必要がある。

エ 成果と課題

a 成果

- 最初に教師も一緒になって楽しみ、チャットのルールやマナーを教えたことにより、その後もトラブルなく活用することができた。
- 児童作品の発表の場として活用したことで、著作権の指導を行うことができた。また、他の児童もスライドに興味をもち、活用に対する意欲が高まった。
- ストリーム機能を利用することで、クラス全員が閲覧でき、閲覧した児童からメッセージを受け取ることができるので、係の児童の意欲の向上に大きくつながった。
- 削除されたコメントも見ることができるため、不適切な内容に対しての指導を適宜行うことができる。

b 課題

- チャットでのトラブルも想定されるので、活用には十分注意する必要がある。教師が参加できるときのみ、コメントを許可するなどの対応が必要である。